



图书基本信息



内容概要

中学生だった虚子(1874 1959)は、郷里松山に帰省してきた東京帝国大学学生正岡子規(1867 1902)とその友人夏目漱石(1867 1916)に初めて出会う。以後、師の没年までの濃密な交流を描いた「子規居士と余」と、松山中学の教師時代から文壇の寵児となる頃までの漱石との交友を描いた「漱石氏と私」の二篇を収める。



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com